

2017年1月18日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

## リオ州の治安情報5号

### リオ州における文民警察のストライキについて

報道及び当館から州文民警察労働組合に確認した情報によれば、リオ州文民警察労働組合（Sindelpol-RJ）が中心となり、1月17日（火）から、観光客の被害届を受理する観光警察署を含む、ほぼ全ての文民警察署でストライキを実施されています。

18日現在、リオ州における文民警察の活動は通常の30%の人員で行われています。文民警察観光警察によれば、「急を要する被害を除いて被害届の受理は行わず、また、緊急事件を除いた捜査も行わない」とのことです。

同観光警察によれば、ストライキは19日以降も継続予定とのことです。文民警察労働組合では、州に対して、遅延している本年1月分の給料、昨年12月に支給されるべきボーナス（デシモ・テルセーロ）及び昨年開催されたオリンピック・パラリンピック期間中の超過勤務の支払いを求めており、未払い分の給料が支払われない場合、ストライキが長期化する可能性があるとのことです。

#### 【当館から】

当地では、一般治安維持活動は一義的には軍警察の担当ではありますが、（犯罪捜査、被害届の受理を担当する）文民警察の活動縮小によっても、治安維持上の一定の問題が発生する可能性があります。

ストが長期化した場合、犯罪被害に遭った際の被害届の提出、その後の捜査に重大な影響がある可能性もありますので、今後の情報に十分注意して下さい。